M-MANU201010-03
B-MANU201720-01

I-O DATA

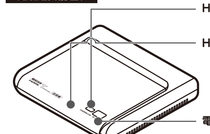
テレビ用HDMI無線化ユニット『WTR-HDAV/A』

取扱説明書

1 準備する

① 各部の名称、機能をおぼえる

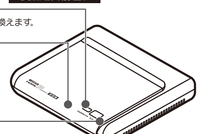
送信機(前面)



HDMI切換ボタン
送信機につなげた映像再生機器を切り換えます。

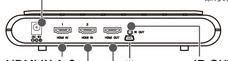
HDMI切換ランプ
現在接続中または前回接続した映像再生機器をつないでいるHDMI INコネクターの番号と本製品の状態を表示します。(右記「ランプについて」参照)

受信機(前面)



電源ボタン/電源ランプ
本製品の電源をON/OFFします。また本製品の状態をランプで表示します。(下記「ランプについて」参照)

送信機(背面)



DC IN
添付のACアダプターをつなぎます。

HDMI IN 1,2
ハードディスクレコーダー等の映像再生機器をつなぎます。

※

IR OUT
添付の送信機用ケーブル(赤外線発光部延長ケーブル)をつなぎます。

HDMI OUT
テレビなどの映像表示機器をつなぎます。

受信機(背面)

※

IR IN
添付の受信機用ケーブル(赤外線受光部延長ケーブル)をつなぎます。

※使用しません。USB機器をつなぐと故障の原因となる場合があります。

リモコン

※リモコンは送信機、受信機のいずれにも共通で使用できます。

電源ボタン
本製品の電源をON/OFFします。

無線チャンネルボタン
他の無線機器と電波が干渉する場合に使用します。(本紙ウラ面「困ったときには」参照)

情報表示ボタン
画面上表示されている本製品の状態を表示/非表示します。

リモコン設定ボタン
映像再生機器のリモコンが使えない場合に使用します。(本紙ウラ面「困ったときには」参照)

HDMI切換ボタン
映像再生機器を切り換えます。

ランプについて 本製品の状態を表示します。

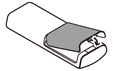
状態		電源ランプ		HDMI切換ランプ	
		送信機	受信機	送信機	受信機
送信機のみ電源ON		紫点灯	赤点灯	点灯	消灯
電源OFF		赤点灯		消灯	
無線通信中		青点滅		点滅	
機器未接続/入力なし	青点灯			早い点滅	
対応外機器				点滅	
機器接続完了				点灯	
無線出力強度	強	紫点滅(6回)			
	中	紫点滅(4回)			
	弱	紫点滅(2回)			

② 付属のリモコンに電池をセット

①フタのツメを押しながら上に開ける

②電池の+,-の向きを確認してセット

③フタを閉める

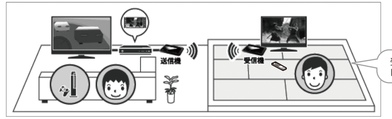


※単4形マンガン乾電池またはアルカリ乾電池を使用してください。充電池(ニッケル水素電池等)、オキシライド乾電池は使用できません。
※添付の電池は試供品(動作確認用)です。
※極性(+,-)を逆にしないでください。
※交換する際は、2本とも新しい電池に交換してください。

2 設置する

例 リビングにあるレコーダーから、視聴したいテレビに番組配信。

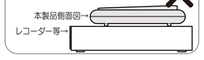
▼イメージ図



受信機側で、送信機側のブルーレイやハードディスクレコーダー等のリモコンが使用できます。

※ 壁や遮蔽物がある場合、材質等により伝送できない、または到達距離が短くなる可能性があります。

⚠ 高温注意
・使用中、使用直後本体に長時間触れるとやけどのおそれがあります。
・ビニールなどの熱に弱い密閉や他の機器の上に置かないでください。
・風通しの良いところに設置してください。



設置の際の注意

●CEC機能(テレビやハードディスクレコーダーなど、デジタル機器間の連携機能)は受信機側でのみお使いいただけます。

●本製品は、他製品へ電波干渉・障害を引き起こす事があります。問題が発生した場合には、他の機器から最低1m離してください。

●ACアダプターに送信機用、受信機用の区別はありません。どちらにもつなげられます。

●本製品は送信機と受信機を1対1で使用します。分配機のような複数台接続はできません。

●2台の映像再生機器をつなげられますが、2台同時に表示することはできません。

●DVI-HDMI変換ケーブルを使用した場合、正常にご使用いただけない場合があります。あらかじめご了承願います。

●著作権保護(HDCP対応)コンテンツを再生する場合、すべてHDCP対応の映像再生機器をお使いください。HDCP非対応映像再生機器が一台でもつながっていると、すべての映像再生機器でコンテンツを再生できません。

画面に表示されるメッセージについて

受信機につなげたテレビ等に表示される本製品のメッセージの説明です。

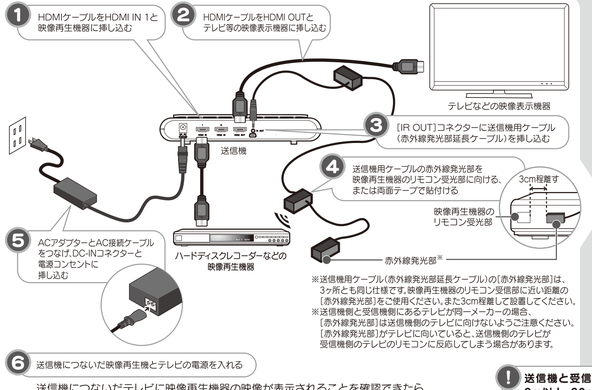
▼画面例(●には数字や文字列が入ります。)

①本製品の電波状態を表示します。
②現在接続している映像再生機器のHDMI IN コネクターの数字を表示します。
③現在の無線チャンネル数を表示します。
④現在接続している機器の解像度の略称を表示します。
⑤本製品の状態や操作している内容などの情報を表示します。

電波強度切り替え手順について

以下の手順で無線出力の強度を変更できます。
①送信機の[HDMI切換]ボタンを、電源ボタンが紫点滅するまで10秒以上、長押しします。
②電源ボタンの点滅を確認後すぐに、[HDMI切替]ボタンを10秒以上長押しすることで無線出力が、強(初期値)→中→弱の順に切り替わります。(無線出力強度は、[HDMI切替]ランプ長押し後の電源ランプの点滅回数で確認します。左記「ランプについて」参照)
※無線出力強度をさげることにより、送信機と受信機の伝送距離は短くなります。

Step1 送信機を設置する

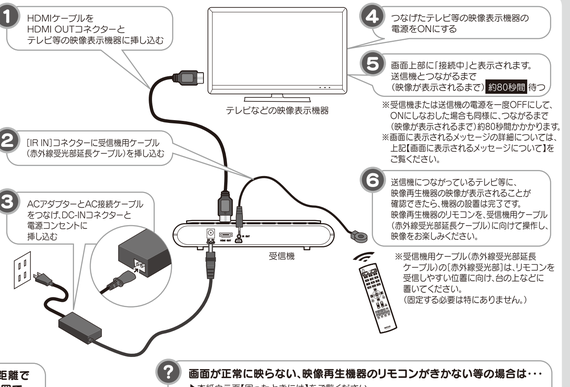


※送信機用ケーブル(赤外線発光部延長ケーブル)の(赤外線発光部)は、3ヶ所とも同じ仕様です。映像再生機器のリモコン受信部(近い距離の[赤外線受光部])をご使用ください。また3cm程離して設置してください。
※送信機側と受信機側にあるテレビが同一メーカーの場合、[赤外線受光部]は送信機側のテレビに向けないようご注意ください。[赤外線発光部]がテレビに向いていると、送信機側のテレビが受信機側のテレビのリモコンに反応してしまう場合があります。

送信機につないだテレビに映像再生機器の映像が表示されることを確認できたら、送信機の設置は完了です。※送信機の設置完了後、テレビの電源は任意で切ることができます。

! 送信機と受信機は直線距離で2m以上、20m以内の範囲で設置してください。

Step2 受信機を設置する



※受信機または送信機の電源を一度OFFにして、ONにしなおした場合も同様に、つながるまで(映像が表示されるまで)約80秒間かかります。
※画面に表示されるメッセージの詳細については、上記【画面に表示されるメッセージについて】をご覧ください。

※受信機用ケーブル(赤外線受光部延長ケーブル)の(赤外線受光部)は、リモコンを受信しやすい位置に向け、台の上などに置いてください。
(固定する必要は特にありません。)

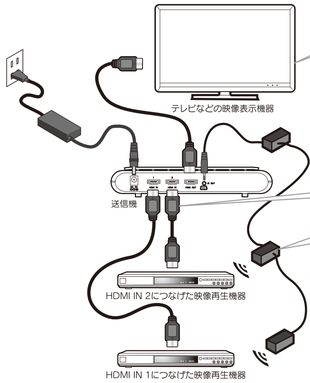
? 画面が正常に映らない、映像再生機器のリモコンがきかない等の場合は・・・
▶本紙ウラ面【困ったときには】をご覧ください。

3 その他使い方

機器を増設する

送信機には2台の映像再生機器(ハードディスクレコーダーやセットトップボックス等)と1台の映像表示機器(テレビ等)をつなぐことができます。送信機にテレビをつなぐと、送信機側/受信機側のテレビで同時に同一の映像をご覧いただけます。

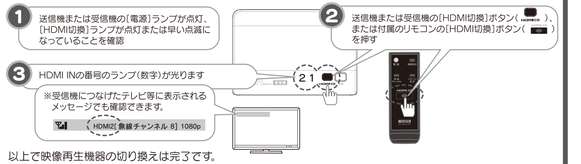
▼例:送信機のHDMI OUTコネクターにテレビ、HDMI INコネクターに映像再生機器を2台つなげた場合の接続図



1. HDMIケーブルでHDMI OUTコネクターとテレビなどの映像表示機器をつなげる
※送信機につないだテレビの電源を入れれば、送信機側/受信機側のテレビで同時に同一の映像が映ります。
※送信機側のテレビで映像再生機器を使うときは、使用する映像再生機器がつながっているHDMI INの番号に切り換えてください。(下記【映像再生機器を切り換える】参照)
2. HDMIケーブルでHDMI IN 2コネクターにセットトップボックスなどの映像再生機器をつなげる
3. 送信機用ケーブルの赤外線発光部を映像再生機器のリモコン受光部に向けるか両面テープで貼付ける
4. 追加でつないだ映像再生機器の電源をONにする
5. 下記【映像再生機器を切り換える】を参照し、使用する映像再生機器に切り換える

送信機につながっているテレビ等に、追加した映像再生機器の映像が表示されることが確認できたら、機器の増設は完了です。

映像再生機器を切り換える

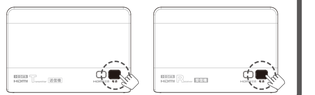


以上で映像再生機器の切り換えは完了です。

電源の切り方

電源は以下のいずれかの方法で切ってください。

方法1▶ 送信機/受信機の[電源]ボタンをそれぞれ押します。
方法2▶ 先に送信機の[電源]ボタンを押して電源を切ります。受信機の電源も自動的に切れます。
方法3▶ 付属のリモコンを送信機/受信機それぞれに向けて[電源]ボタンを押します。



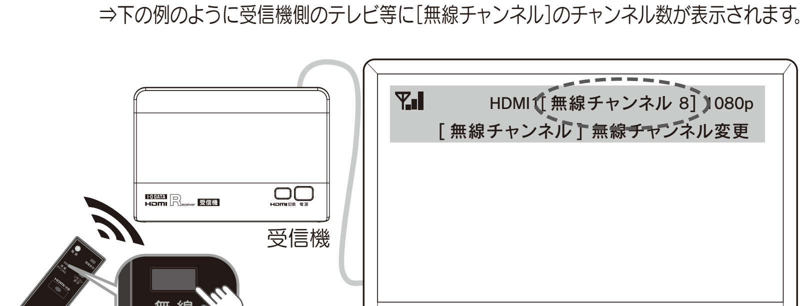
困ったときには

Q 電源ランプが点灯しない

対処1▶本製品と電源コンセントにACアダプターがしっかりと挿しこまれているか確認してください。
対処2▶下記[Q　正常に動作しない(本製品のリセット方法)]の対処をご確認ください。

Q ・映像が映らない ・画質が悪かったり映像が途切れる ・「対応外のソースです」と表示される ・「接続中」のまま表示がかわらない

対処1▶テレビの電源をON/OFFしてください。
対処2▶無線チャンネルを切り換えて映像が正常に映るかどうかご確認ください。
①受信機に向けて付属のリモコンの[無線チャンネルボタン]を押します。
⇒下の例のように受信機側のテレビ等に[無線チャンネル]のチャンネル数が表示されます。



②付属のリモコンの[無線チャンネル]ボタンを何度か押し、映像が映るチャンネルがあるかどうか確認します。
③正常に映像が映れば設定完了です。情報表示は5秒たつと自動的に消えます。

対処3▶映像再生機器側の設定で解像度が変更できる場合は、変更してご確認ください。設定方法については、映像再生機器の取扱説明書をご覧ください。
※本製品の対応解像度については右記【ハードウェア仕様】参照

対処4▶送信機と受信機を直線距離で2m以上、20m以内の場所に設置してください。
また間に鉄筋や金属、コンクリートがある場合は通信できないため、ご注意ください。

対処5▶2分待っても接続できない場合は、送信機/受信機ともに電源を入れ直してください。

Q 正常に動作しない(本製品のリセット方法)

対処▶送信機/受信機ともに以下の手順でリセットします。
①ACアダプターを電源コンセントから取り外します。
②1分ほど経過した後、再度電源コンセントを挿し直します。

Q テレビ画面にノイズが入ることがある

対処1▶本製品をテレビから離してください。
対処2▶テレビの電源をON/OFFしてください。
対処3▶電波強度の切替をお試しください。(本紙表面【電波強度切り替えて順について】参照)

Q 映像が一瞬消える

送信機とつながっているテレビの電源を入れたときや、入力切替をしたとき、本製品の表示が一瞬消えて映る動作をします。これは本製品の仕様になります。

Q 音がでない

対処1▶テレビや映像再生機器側のボリュームがあがっているか、消音になっていないかご確認ください。
対処2▶HDMIケーブルを抜き差しし、接続を確認してください。
対処3▶映像再生機器側の設定でオーディオのビットレートが変更できる場合は、変更してみてください。設定方法については、映像再生機器の取扱説明書をご覧ください。
※本製品の対応オーディオ形式については右記【ハードウェア仕様】参照

Q 映像再生機器のリモコンがうまく動かない

対処1▶送信機用ケーブル、受信機用ケーブルが奥までしっかり挿しこまれているか確認してください。
対処2▶送信機用ケーブル(赤外線発光部延長ケーブル)の位置や向きを調整してください。
対処3▶以下の手順で本製品のリモコン中継出力の周波数を変更します。
①受信機に向けて付属のリモコンの[リモコン設定]ボタンを押すか、受信機の[HDMI切換]ボタンを3秒間長押しします。⇒テレビ等に「リモコン機種選択[＊＊KHz]」(＊＊には数字が入ります)が表示されます。
②もう一度、付属のリモコンの[リモコン設定]ボタン、または[HDMI切換]ボタンを押します。
⇒周波数が38KHz(初期値)→47KHz→58KHz→38KHzの順に切り替わります。画面の表示は5秒たつと自動的に消えます。
③周波数を変更後、映像再生機器のリモコンが操作できるかご確認ください。

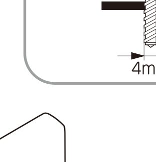
※上記対処をおこなっても映像再生機器のリモコンが動かない場合は、受信機側で映像再生機器のリモコンの一部機能または全機能がご利用いただけません。
ご了承願います。

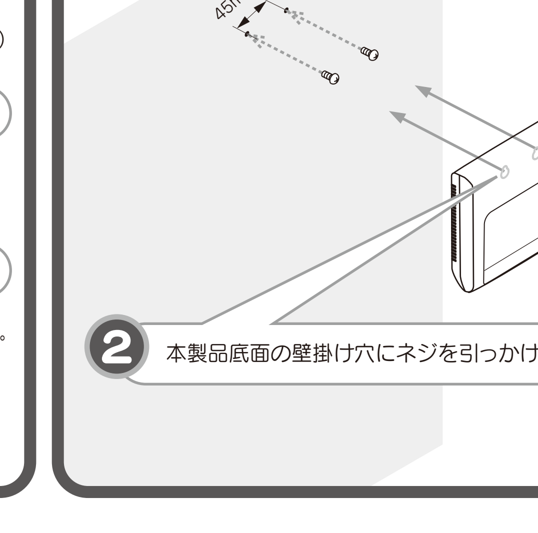
本製品を壁掛けで使う場合

本製品を壁掛けで使う場合は以下のようにネジを取り付けてください。

1 壁にネジを取り付けます。
※石こうボードなど、中空の壁に取り付ける場合は、それぞれの壁に対応したボードアンカーやボードプラグを使用して、ネジ止めをおこなってください。
※ネジとネジの間は45mm空けます。

※ネジは同梱されていません。下図のようなネジをご用意ください。送信機/受信機それぞれに2本ずつ必要です。
※ネジ面から壁面までは約15mm空けます。





2 本製品底面の壁掛け穴にネジを引っかけます。

ハードウェア仕様

仕様

使用周波数帯域	5.17GHz～5.69GHz		
インターフェース	HDMI (送信機側:入力2ポート、出力1ポート／受信機側:出力1ポート)		
伝送距離	最大20m(送信機、受信機間に障害物がない環境での最大伝送距離です。ご使用環境により異なります。)		
外形寸法	約195(W)×138(D)×41(H) mm (本体のみ)		
質量	送信機:310 g　／　受信機:290 g	映像遅延	1ms未満
消費電力	送信機:最大13 W ／ 受信機:最大9 W	電源	AC100V、50/60Hz
使用湿度範囲	10%～80%(結露なきこと)	使用温度範囲	+5 ～ +35 ℃
各種適合規格	電波法、電気用品安全法(ACアダプター、ACケーブルのみ)、RoHS指令準拠、VCCI Class B、HDMI Specification、HDCP Specification		

対応オーディオ形式とビットレート

※AC3とDTS、PCMに対応しています。

2channel PCM	32KHz	44.1KHz	48KHz	96KHz
16bit	○	○	○	○
24bit	○	○	○	○

使用する電波周波数

無線チャンネル	1	2	4	5	6	7	8	9
中心周波数[MHz]	5190	5230	5310	5510	5550	5590	5630	5670

※無線チャンネル3はご利用いただけません。

対応解像度

HDMI	
対応解像度 / リフレッシュレート	略称
640x480p (59.94 / 60Hz)	480p
720x480p (59.94Hz)	
720x480p (60Hz)	
720x576p (50Hz)	576p
1280x720p (50Hz)	720p
1280x720p (59.94 / 60Hz)	
1920x1080i (50Hz)	1080i
1920x1080i (59.94 / 60Hz)	
1920x1080p (50Hz)	1080p / 60
1920x1080p (59.94 / 60Hz)	
1920x1080p (23.98 / 24Hz)	1080p / 24
1920x1080p (25Hz)	
1920x1080p (29.97 / 30Hz)	

※本製品は3Dに対応しておりません。
※解像度は本製品では設定できません。

最新情報は弊社ホームページをご覧ください。
http://www.iodata.jp/

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示

危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

▼ 絵記号の意味

⃠	禁止
!	指示を守る

⚠ 危険

本製品を修理・分解・改造しない
火災や感電、やけど、故障の原因となります。

⚠ 警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源ケーブルには触れない
感電の原因になります。

ぬらしたり、水気の多い場所で使用しない
火災・感電の原因となります。
●お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
●水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上に置かない。

電池を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、直ちに医師にご相談ください。

ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない
電波によりペースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。

故障や異常のまま、通電しない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずパソコンから取り外し、コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

ACアダプターについては、以下のことにご注意ください。
火災・感電の原因となります。
●ACアダプターやACケーブルは、添付品または指定品のもの以外を使用しないでください。
●ACアダプターの上にものをのせたり、かぶせたり、かさねたりしないでください。高温になる危険性があります。
●ACアダプターを保温・保湿性の高いもの(じゅうたん・スポンジ・ダンボール箱・発泡スチロールなど)の上ではご使用にならないでください。
●本製品に添付のACアダプターは、AC100V専用です。指定以外の電源電圧で使用しないでください。
●ケーブルを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
●ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずアダプター部分を持って抜いてください。
●濡れた手でACアダプターを、コンセントに接続したり抜いたりしないでください。
●ACアダプターはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。
●本製品同士や他の機器を重ねて使用しないでください。

電池について、以下のことに注意する
故障、発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因になります。
●指定の電池以外は使わないでください。
●火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光の当たる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
●(+)(−)を逆にセットしないでください。
●(+)(−)を金属類で短絡させたり、はんだ等を使わないでください。
●ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
●使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
●容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。
●電池を使い切ったときや、長時間使わないときは取り出してください。
●電子レンジや高圧容器に入れないでください。
●水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
●強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
●電池を充電しないでください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
火災の原因になります。

電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す
漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
●液が漏れたとき
→漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などで電池ケースの周りをよくふいてください。
●液が目に入ったとき
→目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
●液が体や衣服についたとき
→すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。

煙がでたり変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止する
コンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

本製品を病院内で使用しない
医療機器の誤動作の原因になることがあります。

⚠ 注意

本製品を踏まない
破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

長時間にわたり一定箇所に触れ続けない
本製品を一定時間使用すると、本製品が熱く感じる場合があります。安全設定機関の仕様に準拠するように設計されていますので、適切な使用環境で安全面での問題は起こりません。ただし、長時間にわたり一定箇所に触れ続けると、低温やけどを起こす恐れがあります。

ACアダプターについては、以下のことにご注意ください。
破損し、ケガの原因となります。
●人が通行するような場所に配線しないでください。足を引っ掛けるとケガの原因になります。
●熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良などの原因になります。

ハードウェア保証書

取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター宛)にご依頼ください。

修理の際は、保証書を切り取り製品に同梱するか、本書を製品と一緒に送付してください。

ご販売店様へ
1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご購入日欄に記入し貴店名／住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。

✂(キリトリ線)

ハードウェア保証書

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店にお申し出ください。また、本書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

型　番	WTR-HDAV/A
保証期間	ご購入日より 12ヶ月間 有効です。

☆ お客様	(ふりがな) お名前　　　様
	TEL.(　　　)　　－
	〒□□□-□□□□ ご住所

ご購入日	年　月　日
販売店	住所・店名　　印
	TEL.(　　　)　　－

保証内容等につきましては、「ハードウェア保証規定」をご参照ください。

I-O DATA
株式会社 アイ・オー・データ機器

107327-05

ハードウェア保証書規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、お客様へのサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容
取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)の注意書きなどに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証規定の記載内容に基づき、無料修理または弊社の判断により同等品への交換をいたします。

2 保証対象
保証の対象となるのは本製品の本体部分のみで、ソフトウェア、付属品・消耗品、もしくは本製品内にお客様が保存されたデータなどは保証の対象とはなりません。

3 保証対象外事由
本保証規定に別途定める他、ハードウェア保証書をご提示いただきましても、次の場合は無料修理または交換の対象となりません。この場合において、お客様が修理を希望される場合には、修理が可能であっても有料修理となりますので、修理費用を別途ご負担いただくことになります。
1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合(オークション等個人売買にてご購入された場合には、お客様自身のご購入日ではなく、最初に販売店等で購入された日が保証期間の起算点となります。)
2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
3) ハードウェア保証書の所定事項(型番、お名前、ご住所、ご購入日など〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕)が未記入の場合または字句が書き換えられたおそれがある場合
4) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、テロ、暴動、公害または異常電圧などの外部的事情による故障もしくは損傷の場合
5)お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃などお取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
6) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
7) 添付または弊社ホームページ(http://www.iodata.jp/)に掲載されている最新の取扱説明書に記載の使用方法または注意書きなどに反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
8) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
9) 弊社以外で改造、調整、部品交換などをされた場合
10) 弊社が寿命に達したと判断した場合
11) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
12) その他弊社が無料修理の対象外と判断した場合

4 修理
1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
3) 本製品がハードディスク・メモリカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータは全て消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
4) 当社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜廃棄処分しますので、お客様にはお返しいたしません。

5 免責
本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取るなどの措置を講じてください。また、弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲
弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。
Our company provides the service under this warranty only in Japan.

弊社修理センターのご案内
送付先
〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社　アイ・オー・データ機器　修理センター 宛

アフターサービスについて

ご提供いただいた個人情報は、製品のお問合せなどアフターサービス及び顧客満足度向上のアンケート以外の目的には利用いたしません。また、これらの利用目的の達成に必要な範囲内で業務を委託する場合を除き、お客様の同意なく第三者へ提供、または第三者と共同して利用いたしません。

お問い合わせについて

必ず以下の内容をご確認ください

左記[困ったときには]を参照

弊社サポートページのQ&Aを参照
➡ http://www.iodata.jp/support/

最新のドライバーソフト等をダウンロード
➡ http://www.iodata.jp/lib/

それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

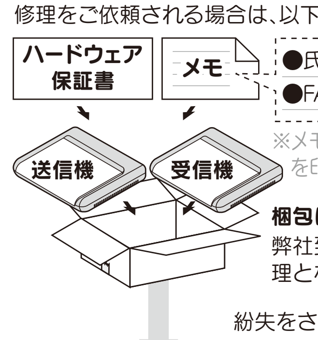
電話：050-3116-3015
※受付時間　9：00～17：00　月～日曜日（年末年始・夏期休業期間をのぞく）
FAX：076-260-3360
インターネット：http://www.iodata.jp/support/

＜ご用意いただく情報＞　製品名 / 接続機器の型番

ペイバックシステムについて
「ペイバック保証」は、ご購入後、2週間以内に弊社サポートセンターへご相談いただいたにも関わらず、送信機と受信機間の無線通信ができなかった場合、弊社が直接、購入代金をご返金するサポートシステムです。詳細は弊社Webページをご覧ください。
※映像再生機器のリモコン延長操作については保証対象外です。
http://www.iodata.jp/payback/

修理について

修理をご依頼される場合は、以下の要領でお送りください。



●氏名　●住所　●電話番号
●FAX 番号　●メールアドレス　●症状
※メモの代わりにWeb掲載の修理依頼書を印刷してご利用いただくと便利です。

梱包は厳重に！
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。

紛失をさける為 宅配便・書留ゆうパック でお送りください。

〒920-8513
石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社　アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

●**送信機と受信機の両方を送付してください。**
●送料は、発送時はお客様ご負担、返送時は弊社負担とさせていただいております。
●有料修理となった場合は先に見積をご案内いたします。(見積無料)金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
●お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
●保証内容については、保証規定に記載されています。
●修理品をお送りになる前に製品名とシリアル番号(S/N)を控えておいてください。

修理について詳しくは… **http://www.iodata.jp/support/after/**

使用上の注意

※本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

●**以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。**
○ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
○工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
○特定小電力無線局(免許を要しない無線局)
上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉を発生する恐れがあります。
そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。

●**携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。**
携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、本製品とは異なる電波の周波数帯を使用しています。
そのため本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を本製品に近づけた場合は、本製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生し、ご使用いただけない場合があります。

●**間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信に影響を及ぼす場合があります。**
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。
ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。
同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。

●**本製品は、屋外で使用しないでください。**
法令により、本製品を屋外で使用することは禁止されています。

~~J52~~ W52 W53 W56

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

【ご注意】
1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは 法律で禁じられています。
2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan andprovide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
4) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
5) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【商標について】
●I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

デジタルライフの夢を拡げる
株式会社 アイ・オー・データ機器
本社サポートセンター：〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
ホームページ：http://www.iodata.jp/support/